



黒部宇奈月キャニオンルート

KUROBE-UNAZUKI CANYON ROUTE

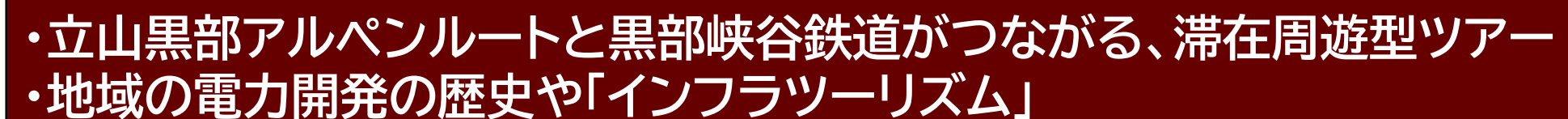


① 黒部宇奈月キャニオンルートパッケージツアーのご案内

主催：(株)JTB

目次

1. キャニオンルート概要	P3
2. 基本情報	P5
3. 見学コースについて	P6
4. 各コース行程	P7
5. 各コース内容	P8
6. アクセス情報	P12
7. ご案内事項(注意事項)	P13
8. おすすめポイント	P14
9. 宿泊施設紹介	P20
10. 周辺観光情報	P32



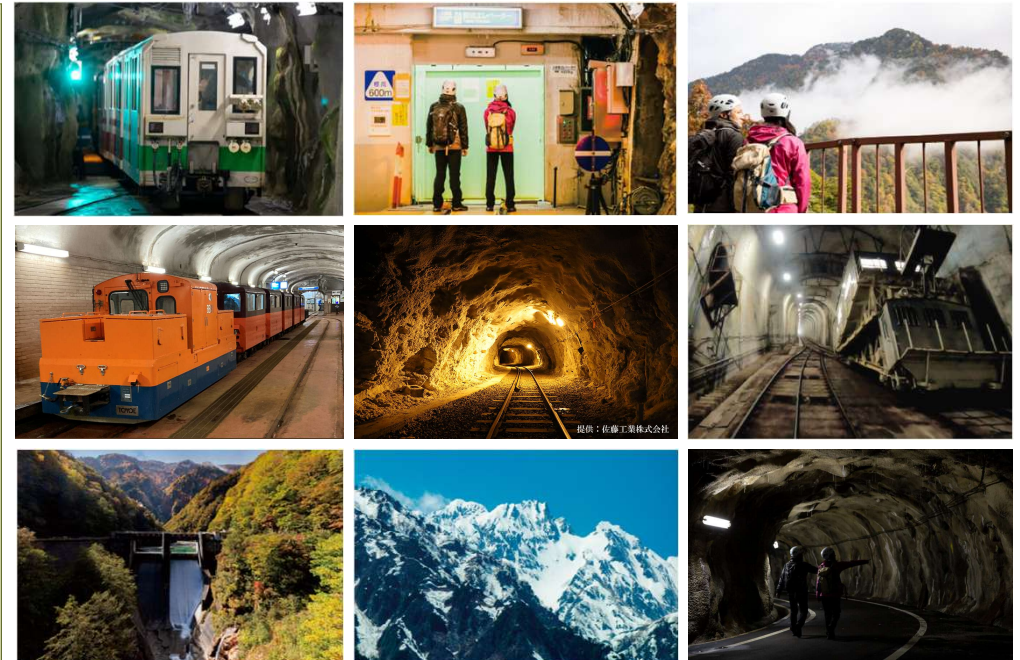
黒部宇奈月キャニオンルートとは？

60年以上前、黒部川第三発電所・第四発電所の建設に伴い、日本電力(株)や関西電力(株)が工事用ルートを整備しました。

今までは一般に開放されていないルートでしたが、2018年に関西電力(株)と富山県が締結した協定により、

安全対策工事が完了し、「黒部宇奈月キャニオンルート」として一般開放・旅行商品化を進めてきました。

日本一のV字峡谷である黒部峡谷を沿うように走る「黒部峡谷鉄道」と世界的な山岳景観を誇る「立山黒部アルペンルート」を結ぶ
富山県の新たな観光ルートがついに誕生します。



60年の時を経て、一般公開!

① 特別見学会でのみ公開されていたルート

これまで関西電力主催の特別見学会で、高倍率の抽選に当選した方しか見られなかった特別な場所が、このツアーで見学可能になりました。

② ここでしか見られない景色が広がる

天候に恵まれれば、世界最南端の氷河や、限られた登山道からしか拝めない「裏剣」の絶景が目の前に広がります。

③ “非日常”の乗り物を体験

豎坑エレベーター、上部専用軌道、インクラインなど5つの乗り物を乗り継ぎながら進んでいきます。

④ 安心の専門ガイド付き

専門知識を習得したガイドが、みどころを解説付きでご案内します。

⑤ 事前説明会（約30分）

黒部宇奈月キャニオンルートへ入る前に、専門ガイドから電源開発の歴史などの解説を聞くことで、見学の魅力がより一層深まります

内 容

人跡未踏の黒部峡谷に挑んだ電源開発の軌跡 ～秘境の地底に広がる巨大な電源施設群の往く～

「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放・旅行商品化により、日本一のV字峡谷である「黒部峡谷」と世界的な山岳景観を誇る「立山黒部アルペンルート」が結ばれ、新たな観光ルートが形成されました。本商品は、黒部宇奈月キャニオンルートとつながる、黒部峡谷鉄道、立山黒部アルペンルート、ツアーガイド等に1泊の宿泊がセットになった旅行商品となります。

期 間

2026年10月2日(金)～2026年11月30日(月) 予定

※設定除外日：コースによって異なります

コース

黒部宇奈月キャニオンルート 全4コース（A・B・C・Dコース）

- 宇奈月出発 （Aコース・宇奈月発 第1便／Bコース・宇奈月発 第2便）
- 黒部ダム出発（Cコース・黒部ダム発 第1便／Dコース・黒部ダム発 第2便）
- 所要時間：約2時間20分～3時間20分 ※黒部宇奈月キャニオンルート内
- 最少受付人員：8名～15名
- 最大受付人員：29名（A・Cコース）／19名（B・Dコース）

＜料金に含まれるもの＞ ※記載内容は予定であり、変更となる場合があります。

●黒部宇奈月キャニオンルートの区間費用 ●ツアーガイド料 ●事前説明会費 ●昼食代 ●手荷物運搬費（コースにより区間が異なります） ●立山黒部アルペンルートの片道運賃（コースにより区間が異なります） ●1泊食事付きの宿泊代（各宿泊施設の条件に準ずる） ●黒部峡谷鉄道の片道運賃（リラックス客車を含む） ●安全添乗員、警備員費用 ●その他コース内容記載の乗り物費用 ●セレネ美術館入館料（特別展示会や美術館の都合によりご覧いただけない場合があります）

その他 (注意事項等)

- 雨天、積雪等の天候や、黒部宇奈月キャニオンルート・黒部峡谷鉄道・立山黒部アルペンルート内の徒歩移動が困難な状況が発生した場合、ツアー内容が変更となります。その場合でも参加料金の返金等には応じられませんのでご了承ください。
- 他のツアーや個人のお客様と同行となる場合がございます。※貸切のご相談承ります。
- 参加者全員の氏名・年齢・住所等が必要となります。参加者お一人ずつ参加同意書の署名提出が必要となります。

黒部宇奈月キャニオンルート 全4コース (A・B・C・Dコース)

キャニオンルートに入る前日または当日の宿泊を付けた1泊2日の4つの「基本コース」を設定しています。

▼ 見学コースMAP〔全コースに専門ガイドが同行 ※黒部宇奈月キャニオンルートをご案内〕



黒部宇奈月キャニオンルート
KUROBE-UNAZUKI CANYON ROUTE

Aコース

宇奈月駅 朝出発 (宇奈月発 第1便)

宇奈月温泉 (前泊) → 宇奈月駅 → 樺平駅 →
(キャニオンルート) → 黒部ダム (解散、立山駅方面へ)

Bコース

宇奈月駅 午前出発 (宇奈月発 第2便)

富山駅 (前泊) → 宇奈月駅 → 樺平駅 →
(キャニオンルート) → 黒部ダム (解散)

Cコース

大町温泉 午前出発 (黒部ダム発 第1便)

大町温泉郷 (前泊) → 扇沢駅 → 黒部ダム →
(キャニオンルート) → 樺平駅 → 宇奈月駅 (解散)

Dコース

立山駅 午前出発 (黒部ダム発 第2便)

立山駅 → 黒部ダム → (キャニオンルート) →
樺平駅 → 宇奈月駅 → 宇奈月温泉 (解散・当日泊)

各コース 行程表

Aコース		宇奈月 前日泊付	
行程スケジュール		時間	
黒部市芸術創造 センターセレネ	集合・事前説明会	15:45	
宿泊ホテル(前日泊)	チェックイン		
宇奈月駅(2F) 集合		7:30	
宇奈月駅 (発)	黒部峡谷鉄道	7:57	
樺平駅 (着)		9:16	
樺平ラウンジ(セキュリティチェック)		30分間	
樺平 (発)	専用鉄道	9:58	
樺平下部 (着)		10:03	
樺平下部 (発)	豎坑EV	10:05	
樺平上部 (着)		10:07	
豎坑展望台		18分間	
樺平上部 (発)	上部専用軌道	10:25	
仙人谷 (着)		10:51	
仙人谷 (発)		10:56	
黒四発電所前 (着)		11:00	
黒四発電所		40分間	
インクライン下部 (発)	インクライン	11:40	
インクライン上部 (着)		12:00	
インクライン上部 (発)	専用バス	12:10	
タル沢 (着)		12:14	
タル沢 (発)		12:29	
黒部ダム (着)		12:45	
黒部ダム (解散)	※昼食	13:00	
黒部湖～アルペンルート経由 立山駅へ			

Bコース			富山 前日泊付
行程スケジュール			時間
扇沢駅集合	基本 オプ シヨ ンッ ア ー		12:00
扇沢駅（発）		トンネルバス	12:30
黒部ダム（着）			12:46
黒部湖（発）		アルペンルート	13:40
室堂（着）			14:25
室堂（発）			15:30
立山駅（着）			16:40
立山駅（発）		富山地方鉄道	17:38
電鉄富山駅（着）			18:55
富山駅宿泊施設(前日泊)		チェックイン	—
富山駅宿泊施設 集合	貸切バス	8:00頃	
黒部市芸術創造 センターセレネ	事前説明会	9:30	
宇奈月駅（発）	黒部峡谷鉄道	10:44	
樺平駅（着）		12:03	
樺平ラウンジ(セキュリティチェック) ※昼食			90分間
樺平（発）	専用鉄道	13:53	
樺平下部（着）		13:58	
樺平下部（発）	豎坑EV	14:00	
樺平上部（着）		14:02	
豎坑展望台		案内なし	
樺平上部（発）	上部専用軌道	14:05	
仙人谷（着）		14:31	
仙人谷（発）		14:36	
黒四発電所前（着）		14:40	
黒四発電所		25分間	
インクライン下部（発）	インクライン	15:05	
インクライン上部（着）		15:25	
インクライン上部（発）	専用バス	15:30	
タル沢（着）		15:34	
タル沢（発）		15:49	
黒部ダム（着）		16:05	
黒部ダム（発）	トンネルバス	16:35	
扇沢駅			16:51

行程スケジュール		時間
宿泊ホテル(前泊)	チェックイン	—
大町温泉宿泊施設 集合		8:00頃
扇沢駅(レストハウス)	事前説明会	8:45
扇沢駅 (発)	トンネルバス	9:30
黒部ダム駅 (着)		9:46
黒部ダム 集合		10:30
黒部ダム (発)	専用バス	10:55
タル沢 (着)		11:11
タル沢 (発)		11:26
インクライン上部 (着)		15分間 11:30
インクライン上部 (発)	インクライン	11:40
インクライン下部 (着)		12:00
黒四発電所 ※昼食(弁当)		67分間
黒四発電所前 (発)	上部専用軌道	13:07
仙人谷 (着)		13:11
仙人谷 (発)		5分間 13:16
樺平上部 (着)		13:42
豎坑展望台		10分間
樺平上部 (発)	豎坑EV	13:52
樺平下部 (着)		13:54
樺平下部 (発)	専用鉄道	14:03
樺平 (着)		14:08
樺平駅		14:15
樺平ラウンジ(休憩)		90分間
樺平駅	黒部峡谷鉄道	16:01
宇奈月駅		17:16

Dコース		宇奈月 当日泊付	
行程スケジュール		時間	
立山駅 集合		8:30	
立山駅 (発)	アルペンルート	8:40	
黒部平 (着)	※昼食 事前説明会	11:17	
黒部平 (発)	移動	63分間 12:20	
黒部ダム(黒部湖)駅 (着)		12:25	
黒部ダム 集合		13:00	
黒部ダム (発)	専用バス	13:25	
タル沢 (着)		13:41	
タル沢 (発)		20分間 14:01	
インクライン上部 (着)		14:05	
インクライン上部 (発)	インクライン	14:10	
インクライン下部 (着)		14:30	
黒四発電所		20分間	
黒四発電所前 (発)	上部専用軌道	14:50	
仙人谷 (着)		14:54	
仙人谷 (発)		5分間 14:59	
樺平上部 (着)		15:25	
豎坑展望台		10分間	
樺平上部 (発)	豎坑EV	15:35	
樺平下部 (着)		15:37	
樺平下部 (発)	専用鉄道	15:42	
樺平 (着)		15:47	
樺平ラウンジ(休憩)		30分間	
樺平駅 (発)	黒部峡谷鉄道	16:43	
宇奈月駅 (着)		17:58	
宇奈月温泉(当日泊)	チェックイン	—	

関電サービス株式会社

宇奈月 ▶ 樺平 ▶ キャニオンルート ▶ 黒部ダム ▶ アルペンルート ▶ 立山室堂 ▶ 立山
 キャニオンルート見学 7～10月の水・木曜日 定員 29名

1 **事前説明会** 15:45集合 **黒部市芸術創造センター「セレネ」** 宇奈月温泉(泊)
※専門ガイドによる事前レクチャー

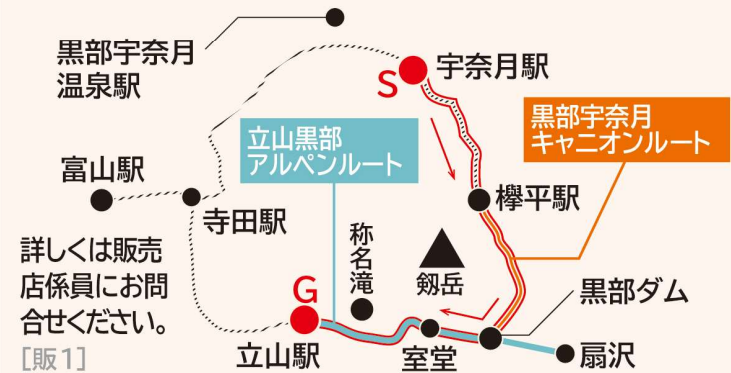
見学コースのポイント

キャニオンルートから黒部ダムを經由してアルペンルートまで周遊できるコースです。黒部ダムから立山駅まではお客様自身での移動になりますので、好きなスポットで自由にお過ごしいただけます。

黒部平 立山 約7分 大観峰 立山トンネルトロリーバス 約10分 立山室堂 立山高原バス 約50分 美女平 立山 ケーブルカー 約7分 立山駅

※黒部湖から立山駅まではお客様自身での移動になります。

身軽に観光！手荷物配送付



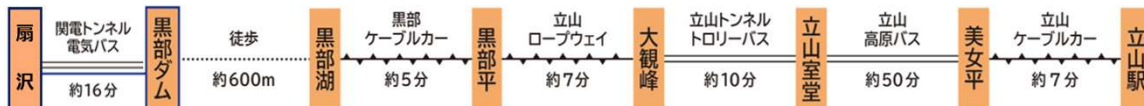
ツアーに含まれるもの：(1日目) 事前説明会費、セレネ美術館入館料(特別展示会や美術館の都合によりご覧いただけない場合があります)、1泊2食付宿泊代(各宿泊施設の条件に準ずる)
(2日目) 黒部宇奈月キャニオンルートの区間費用、ツアーガイド料、昼食代、手荷物運搬費、立山黒部アルペンルートの片道運賃、黒部峡谷鉄道の片道運賃
安全添乗員、警備員費用

〔Bコース〕 宇奈月駅（宇奈月発 第2便）

Bコース 宇奈月駅 午前出発

宇奈月 ▶ 樺平 ▶ キャニオンルート ▶ 黒部ダム ▶ 扇沢
キャニオンルート見学 毎日 定員 19 名

立山黒部アルペンルート



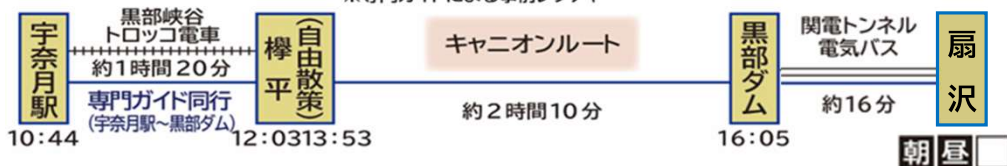
富山地方鉄道

立山駅 → 富山駅は観光列車に乗車していただきます。

富山駅(泊)



事前説明会 9:30 集合 黒部市芸術創造センター「セレネ」
 ※専門ガイドによる事前レクチャー



★立山黒部アルペンルートを、キャニオンルート観光の翌日に変更することも可能です。

その場合、立山駅到着後の富山地方鉄道は付いておりません。
 大町温泉等での追加宿泊(別手配・有料)が必要となります。 また、扇沢 → 宿泊施設間の移動費はお客様負担となります。



扇沢駅



黒部ダム



立山室堂



立山駅



富山駅



宇奈月駅



樺平駅



黒部宇奈月キャニオンルート



黒部ダム



扇沢駅



関電サービス株式会社

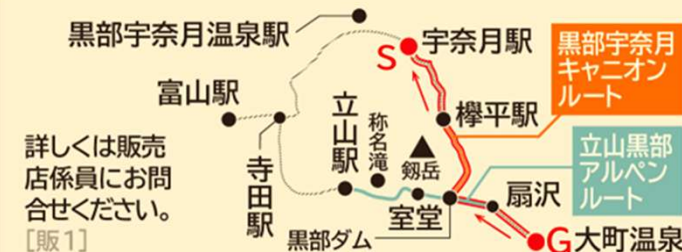
見学コースのポイント

毎日催行で、選択肢の幅が広い柔軟なコースです。
 富山と長野の両エリアを、ゆったりとしたペースで
 お楽しみいただけます。



キャニオン
 ルート「豎
 坑展望台」
 での見学は
 ございませ
 ん。

身
 軽に観光！
 手荷物配
 送付！



ツアー料金: 大人お1人様**119,100円～150,000円**

(詳細は別紙「料金表」をご参照ください。)

ツアーに含まれるもの: 【1日目】アルペンルートの片道運賃、立山駅→富山駅間の富山地方鉄道、富山での宿泊代(1泊朝食付) 【2日目】事前説明会費、セレネ美術館入館料(特別展示会や美術館の都合によりご覧いただけない場合があります)、黒部宇奈月キャニオンルートの区間費用、ツアーガイド料、昼食代、手荷物運搬費、黒部峡谷鉄道の片道運賃、安全添乗員・警備員費用

〔Cコース〕 大町温泉（黒部ダム発 第1便

Cコース 大町温泉 午前出発

扇沢 ▶ 黒部ダム ▶ キャニオンルート ▶ 樺平 ▶ 宇奈月
キャニオンルート見学 7～10月の水・木曜日 定員 29名

1
火水

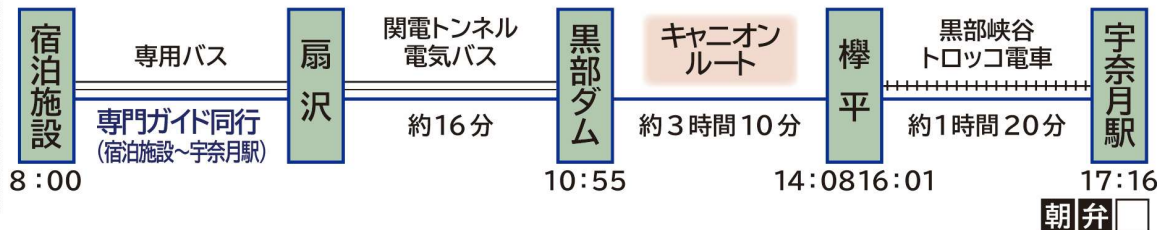
終日フリータイム

大町温泉（泊） ☐ ☐ ☒ 夕

集合 8:00 大町温泉宿泊施設ロビー

事前説明会 8:45～扇沢駅 ※専門ガイドによる事前レクチャー

2
水木

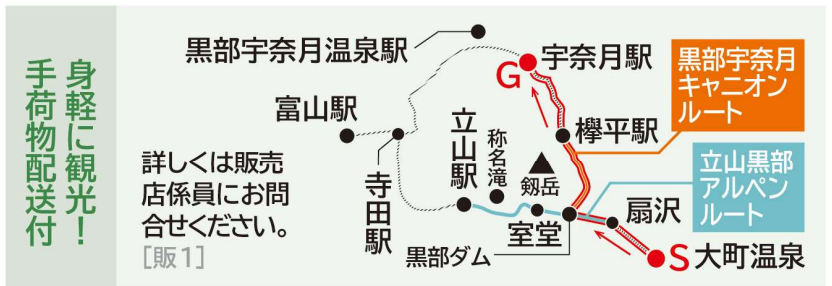


見学コースのポイント

長野側からご参加いただけるコースで、キャニオンルートを中心に見学したい方におすすめ。



アルペンルートの見学はございません。



扇沢駅



黒部ダム



黒部宇奈月キャニオンルート



樺平駅



宇奈月駅

大町温泉(前泊)

ツアー料金：大人お1人様106,500円～119,000円（別紙「料金表」をご参照ください。）

ツアーに含まれるもの：（1日目）1泊2食付宿泊代（各宿泊施設の条件に準ずる）

（2日目）黒部宇奈月キャニオンルートの区間費用、ツアーガイド料、事前説明会費、昼食代、手荷物運搬費、黒部峡谷鉄道の片道運賃、安全添乗員、警備員費用、セレネ美術館入館料（特別展示会や美術館の都合によりご覧いただけない場合があります）

〔Dコース〕立山駅（黒部ダム発 第2便）

Dコース 立山駅 午前出発

立山▶アルペンルート▶立山室堂▶黒部ダム▶キャニオンルート▶樺平▶宇奈月
キャニオンルート見学 毎日 定員 19名

集合 8:30 立山駅

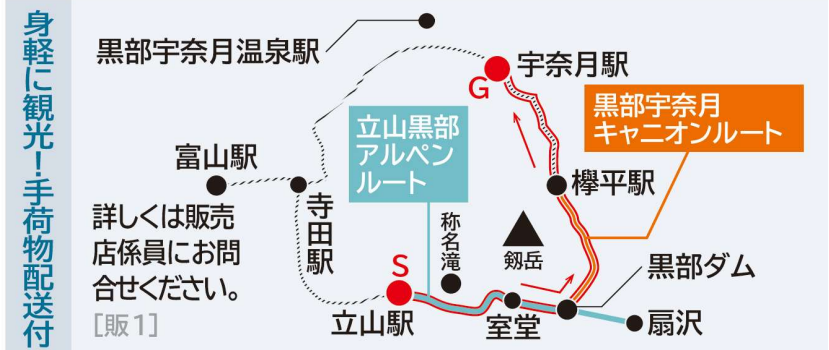
事前説明会 黒部平駅 ※専門ガイドによる事前レクチャー



見学コースのポイント

アルペンルートから黒部ダムを経由してキャニオンルートまで周遊できるコースです。全行程専門ガイドが同行しますので、初めての方にもおすすめです。

立山駅へは富山地方鉄道の利用が便利です。また、出発当日の集合時刻が早いため、富山駅周辺のホテルでの前泊をおすすめします。



ツアー料金：大人お1人様**106,900円～162,900円**（別紙「料金表」をご参照ください。）

ツアーに含まれるもの：（1日目）黒部宇奈月キャニオンルートの区間費用、ツアーガイド料、事前説明会費、昼食代、手荷物運搬費、立山黒部アルペンルートの片道運賃、黒部峡谷鉄道の片道運賃、1泊2食付宿泊代（各宿泊施設の条件に準ずる）、安全添乗員、警備員費用、セレネ美術館入館料（特別展示会や美術館の都合によりご覧いただけない場合があります）

アクセス情報（宇奈月駅・立山駅）

黒部峡谷鉄道・宇奈月駅

住所：富山県黒部市黒部峡谷口11



富山地方鉄道・立山駅

住所：富山県中新川郡立山町千寿ヶ原2



宇奈月駅までの所要時間

車で	東京(練馬IC)	関越道・上信越道・北陸道	約4時間20分	黒部IC	県道 約20分
	名古屋(一宮IC)	名神高速・東海北陸道・北陸道	約3時間40分		
	大阪(吹田IC)	名神高速・北陸道	約4時間20分		
電車で	東京駅	北陸新幹線	最速2時間19分	黒部宇奈月温泉駅	徒歩 約1分
	名古屋駅	東海道新幹線+特急+北陸新幹線	最速3時間13分		
	大阪駅	特急+北陸新幹線	最速3時間25分		
飛行機で	羽田空港	全日空	約1時間	富山駅	富山地方鉄道 約1時間30分
	富山	富山きときと空港	約30分		
					宇奈月温泉駅

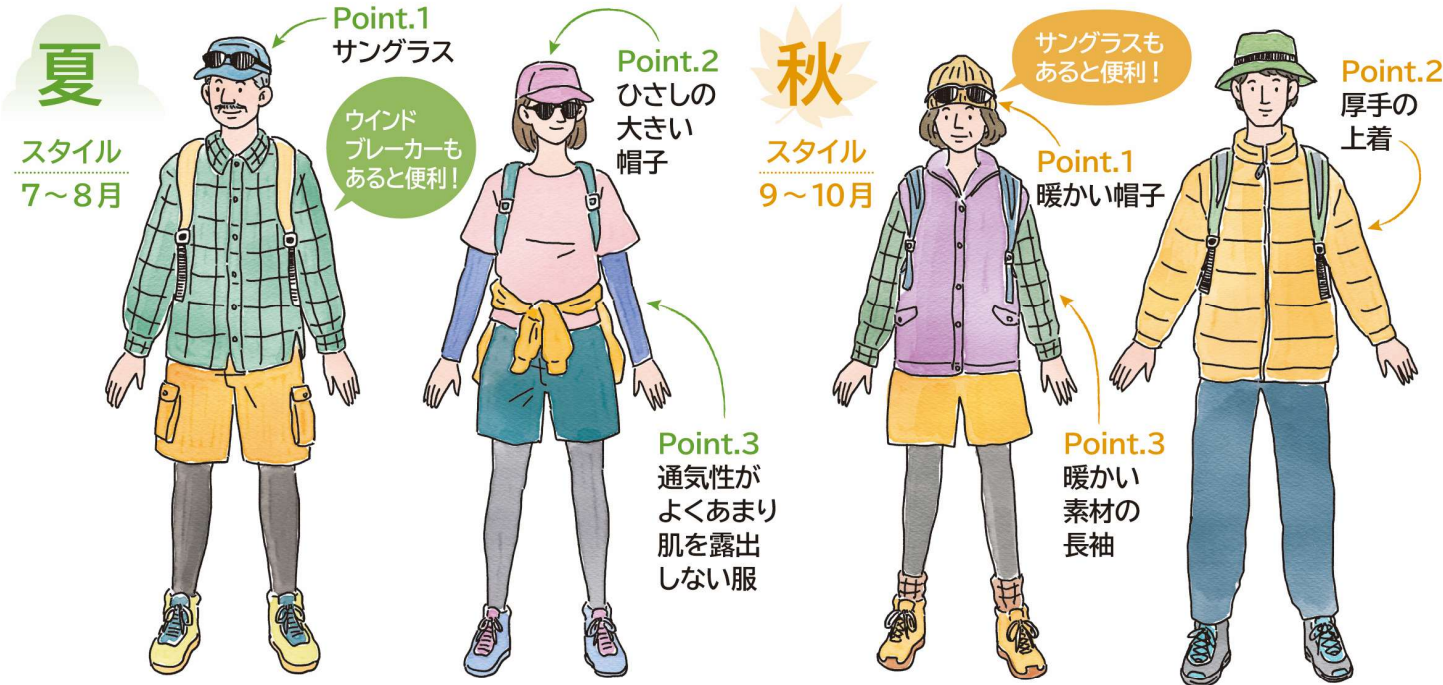
※北陸新幹線は定期便のみ。乗り換え時間を含みます。

立山駅までの所要時間

車で	東京(練馬IC)	関越道・上信越道・北陸道	約4時間40分	立山IC	県道 約35分
	名古屋(一宮IC)	名神高速・北陸道	約3時間20分		
	大阪(吹田IC)	名神高速・北陸道	約4時間		
電車で	東京駅	北陸新幹線	最速2時間5分	富山駅	徒歩 約5分
	名古屋駅	東海道新幹線+特急+北陸新幹線	最速2時間35分		
	大阪駅	特急+北陸新幹線	最速2時間35分		
飛行機で	羽田空港	全日空	約1時間	富山駅	富山地方鉄道 約65分
	富山	富山きときと空港	約30分		
					立山駅

ご案内事項（当日参加するにあたっての注意事項）

服装のアドバイス



室堂（標高 2,450m） の気象データ	午前9時の 平均気温	7月			8月			9月			10月			11月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
		13℃	14℃	16℃	17℃	15℃	14℃	14℃	13℃	11℃	9℃	6℃	2℃	1℃	-1℃	-3℃

注意事項

- 乗り物の乗り換えが多く、階段の昇降も多いため見学者の安全確保の観点から、杖、車イスなどの歩行補助器具を使用しての参加はいただけません。
- 妊娠中の方や乗り物酔いしやすい方、重度の閉所・高所恐怖症の方の参加はご遠慮ください。
- 音声を聞き取れない方は介助者、通訳の同行が必要です。
- 登山を目的としての参加、飲酒（酒気帯び）での参加はできません。
- 樺平～黒部ダム間は、全面禁煙です。
- 見学区域は、中部山岳国立公園内のため、草木の採取およびゴミのポイ捨ては絶対におやめください。
- 手荷物はリュックサック 1 個程度でお願いします。大きな荷物を持つての参加はできません。
- 登山装備（ピッケルやスキー用品などを携行）での参加はできません。
- 危険物や有害物の持ち込みは、お断りします。
- 見学中は安全確保のためヘルメットを着用していただきます。また行動しやすい服装で参加下さい。キャニオンルートの平均温度は年間 4℃～14℃です。
- 専門ガイドは日本語ガイドとなります。
- 黒部宇奈月キャニオンルートのコースは、団体（国内・海外）のお客様と一緒にご案内する場合があります。
- アルペンルートは 10 月下旬～11 月にかけて吹雪くこともあり、天候の状況により一部日程を変更する場合や設定を中止する場合があります。
- 弥陀ヶ原・室堂は 6 月下旬頃まで残雪があり、また 10 月には雪も降り始め、足もとが悪くなっています。防水性に優れた靴でご参加ください。
- 降雪など天候の状況により、ルート内は通行止めとなる場合があります。
- 小学生以下（未就学児含む）はお申し込いただけません。

公的証明書の持参

当日に集合場所で公的証明書により本人確認をさせていただきます。
下記の公的証明書のうち、いずれか一つを持参の上、係員の求めに応じて提示願います。

公的証明書
（コピー不可）

運転免許証、パスポート、健康保険被保険者証、学生証・生徒手帳（中学生以上）、住民票、マイナンバーカード、特別永住者証明書、在留カード



なお、公的証明書の提示がない場合は、キャニオンルート区間の参加はご参加いただけません。

Point.1 | 一般開放によって明かされる秘境の景観と壮大な歴史

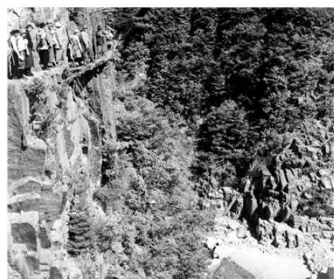
人跡未踏の黒部峡谷の奥地。

その美しく雄大な大自然を守るため、地底につくられた多様な電源施設や設備。

当時の人類の英知を結集した電源開発の軌跡が目前に迫る。

History

日本の建設史に残る、電源開発の物語



昭和4(1929)年に全通した日電歩道(提供:関西電力)

はじめは、秘境の調査

水力発電に適していながら、秘境と呼ばれた厳しい自然が人々の行く手を阻んできた黒部川。アルミ製造の電力を求めて、大正6(1917)年に初めて電源開発に向けた調査が始まった。調査や工事のため絶壁を削り栈道(水平歩道〜日電歩道)がかけられていったが、当時の幅は50センチほどであった。先人たちのまさに命がけの努力が多くの人々の暮らしを支える黒部川水力発電の礎となっている。

最大の難関「高熱隧道」

昭和11(1936)年、黒部川第三発電所と仙人谷ダムの建設がスタート。仙人谷までは急勾配なため、エレベーターと隧道(トンネル)による輸送を計画。隧道の掘削が進むにつれ温度は不気味に上昇し、高熱地帯に到達。作業員に冷水をかけながら昼夜交代で掘り進めるなど、工事は困難を極めた。さらに、作業員の宿舎を、大雪崩が襲来。4階建ての宿舎が1階を残して吹き飛ばされた。幾多の困難を乗り越え、完成した発電所の出力は当時日本最大を誇った。



建設中の黒部川第三発電所。昭和15(1940)年発電開始(提供:関西電力)

「破碎帯」との遭遇と突破

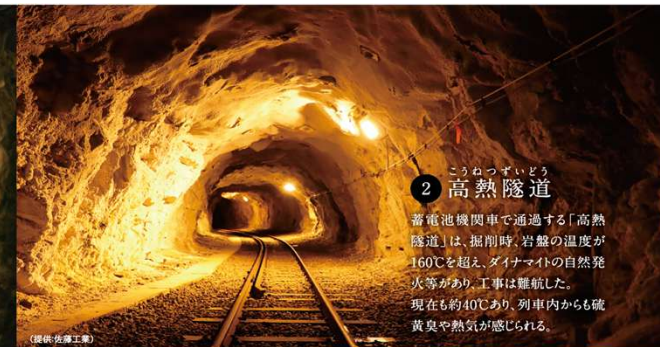
第二次世界大戦後、日本経済の復興が本格化するなか、電力需要の拡大を受け、昭和31(1956)年、「くろよん(黒部川第四発電所・黒部ダム)」の建設が始まった。翌年、大量の土砂と地下水が噴き出す地層「破碎帯」に遭遇。この状況は全国に報道され、建設は不可能かと思われたが、我が国の地質学会、土木学会の知識と経験を結集し、関係者の苦闘の末、7ヶ月を要して、破碎帯を突破。昭和38(1963)年6月、7年の歳月と延べ1,000万人もの人手を要し「くろよん」は竣工を迎えた。



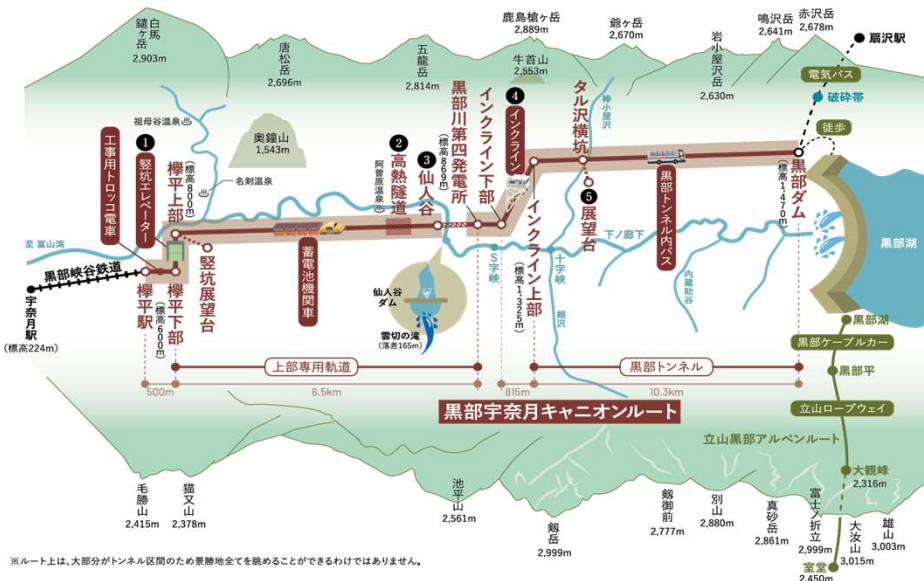
4℃の冷水が最大で毎秒660ℓも噴出した破碎帯(提供:関西電力)



1 竖坑エレベーター
たてこう
200mの標高差を一気に昇降。山の中腹を垂直に貫く巨大なエレベーターは、急峻な地形のため、鉄道を延ばすことができなかったことから、昭和14(1939)年に設置され、建設当時その標高差は日本一を誇った。



2 高熱隧道
こうねつすいどう
蓄電池機関車で通過する「高熱隧道」は、掘削時、岩盤の温度が160℃を超え、ダイナマイトの自然発火等があり、工事は難航した。現在も約40℃あり、列車内からも硫黄臭や熱気が感じられる。



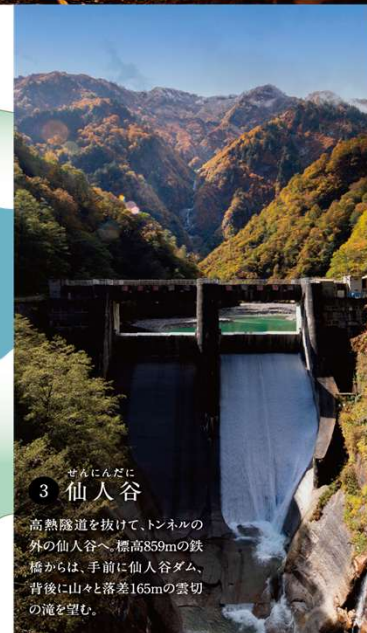
※ルート上は、大部分がトンネル区間のため景観地帯を眺めることができるわけではありません。



4 インクライン
昭和34(1959)年完成。黒四発電所建設に必要な資材、機材を輸送するために建設され、長さ815m、斜度34°の急傾斜を20分かけて昇降。この建設工事は、急傾斜の長大な斜坑を掘削するという点で、世界にも例のないものであった。



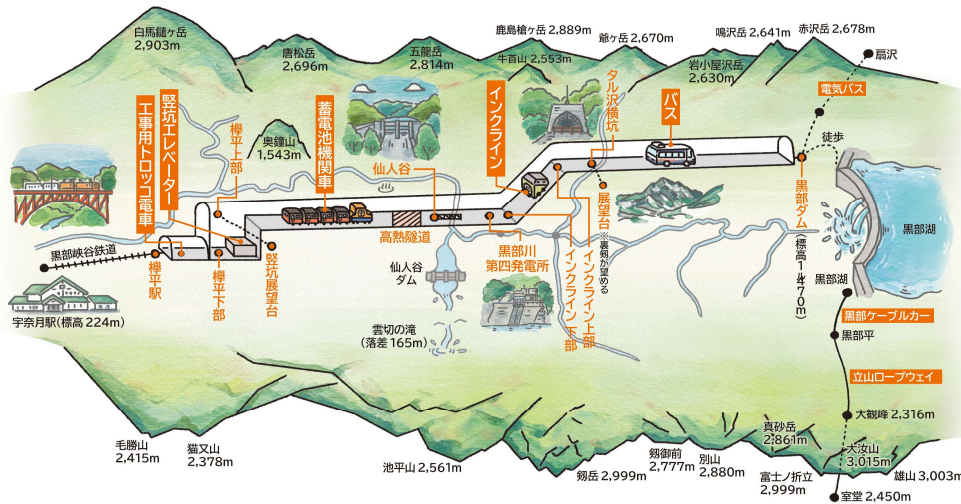
5 展望台から見える裏剣
裏剣を富山平野とは反対の方向から眺める姿は「裏剣」と呼ばれ、荒々しい稜線が鋭い山容は、長く険しい道を通った登山者など限られた人しか目にすることができない。タム沢横坑は、雄大な姿とその雪深に輝く極東最南端の氷河を望むことができる希少なスポットの一つである。



3 仙人谷
せんんにだに
高熱隧道を抜けて、トンネルの外に仙人谷へ。標高859mの鉄橋からは、手前に仙人谷ダム、背後に山々と落差165mの雲切の滝を望む。

Point.2 | 秘境の地底に広がる巨大な電源施設群 の重厚な設備や移動手段

黒部宇奈月キャニオンルート



発電施設



5 仙人谷ダム

黒部川第三発電所での発電のために建設されたダム。
土木学会の「日本の近代土木遺産～現存する重要な土木構造物2000選」に選定。

着手：昭和11(1936)年 竣工：昭和15(1940)年 型式：重力式コンクリート
堤高：47.5m 堤頂長：77.3m 総貯水量：682千m³ 有効貯水量：246千m³



6 黒部川第四発電所

自然景観保護や冬季の厳しい自然条件の回避のため、送電線出入口を除きすべて地下に建設。黒部川水系の12発電所はすべて無人化されており、第四発電所も大阪より遠隔監視による制御を行っている。

着工：昭和31(1956)年 竣工：昭和38(1963)年(昭和36(1961)年に一部運転開始)
取水：ダム水路式 有効落差：545.5m 最大出力：337,000kW(排水式を除く水力発電国内4位)
年間発電電力量：約942百万kWh(至近10年平均)(一般家庭約30万世帯分) 河川：黒部川水系黒部川



9 黒部ダム

黒部川第四発電所での発電のため、関西電力の社運をかけて建設されたダム。総工費は竣工当時の金額で513億円、延べ1,000万人が動員された。アーチの両岸に重力式のウイングダムを備えた美しいフォルムは、上流からの水の圧力を両岸の強固な岩盤で支える構造となっている。

着手：昭和31(1956)年 竣工：昭和38(1963)年 型式：ドーム型アーチ式コンクリートダム(本体)+重力式コンクリートダム(ウイングダム) 堤高：186m(日本一) 堤頂長：492m
総貯水量：約199,285千m³(東京ドーム約160杯分) 有効貯水量：約139,513千m³

乗り物



1 黒部峡谷鉄道

黒部川水系の発電所建設のための資材運搬用鉄道として敷設。

開通：大正15(1926)年(宇奈月～猫又)、昭和5(1930)年(猫又～小屋平)、昭和12(1937)年(小屋平～樺平) 総延長：20.1km 宇奈月～樺平間を約80分で結ぶ
EDR形(主力の電気機関車)
車両寸法：6900×1662×2730 mm 2両連結、重連で走行
重量：18.0t 定格出力：42.0×4kW 定格速度：24.8km/h



2 工事用トロコ電車

黒部峡谷鉄道の終着駅・樺平駅と竪坑エレベーターをつなぐ。乗車は3分だが、樺平駅～樺平下部間を短期間、短距離で整備するため、トンネル内でのスイッチバックを採用。

総延長：500m 所要時間：3分



3 竪坑(たてこう)エレベーター

仙人谷ダム建設のために作られた資材運搬用エレベーターであり、レールが敷設されているため貨車をそのまま載せることができる。その高低差は建設当時日本一を誇った。付近の河川勾配が24分の1と急流であり、河川沿いに鉄道を延ばすことができなかったため、エレベーターがつけられた。(黒部川の平均勾配は1/40であり、日本一長い信濃川の勾配は最大1/300程度)

昭和14(1939)年竣工
標高差：200m(50階建てビル相当)
所要時間：約2分

	積載荷重 トン	昇降速度 m/分	ゲージの大きさ 幅×長×高 m
人荷用	4.50(36名)	150	1.98×4.00×3.50



4 上部専用軌道

仙人谷ダムと水路トンネルを建設するためにつくられた輸送ルート。高熱地帯を通過することなどから、蓄電池機関車と耐熱式客車を使用。

開通：昭和14(1939)年(樺平上部～仙人谷)、昭和32(1957)年(仙人谷～黒部川第四発電所)
総延長：6.5km 所要時間：35分
※機関車、客車ともに2024年に更新予定



7 インクライン

2台の台車を釣瓶式に運行する2連交走式(中間で交換)。竪坑エレベーターで運搬できない大型機器の運搬に使用され、機器運搬の際は人員用ゲージを取りはずす。軌道横には階段が2,390段あり、緊急時にはこの階段で移動する。

着工：昭和32(1957)年 竣工：昭和34(1959)年 斜距離：815m 斜度：34度 高低差：456m
設備概要 最大積載能力：25t 運転速度：約40m/分 所要時間：20分 鋼索直径：56mm

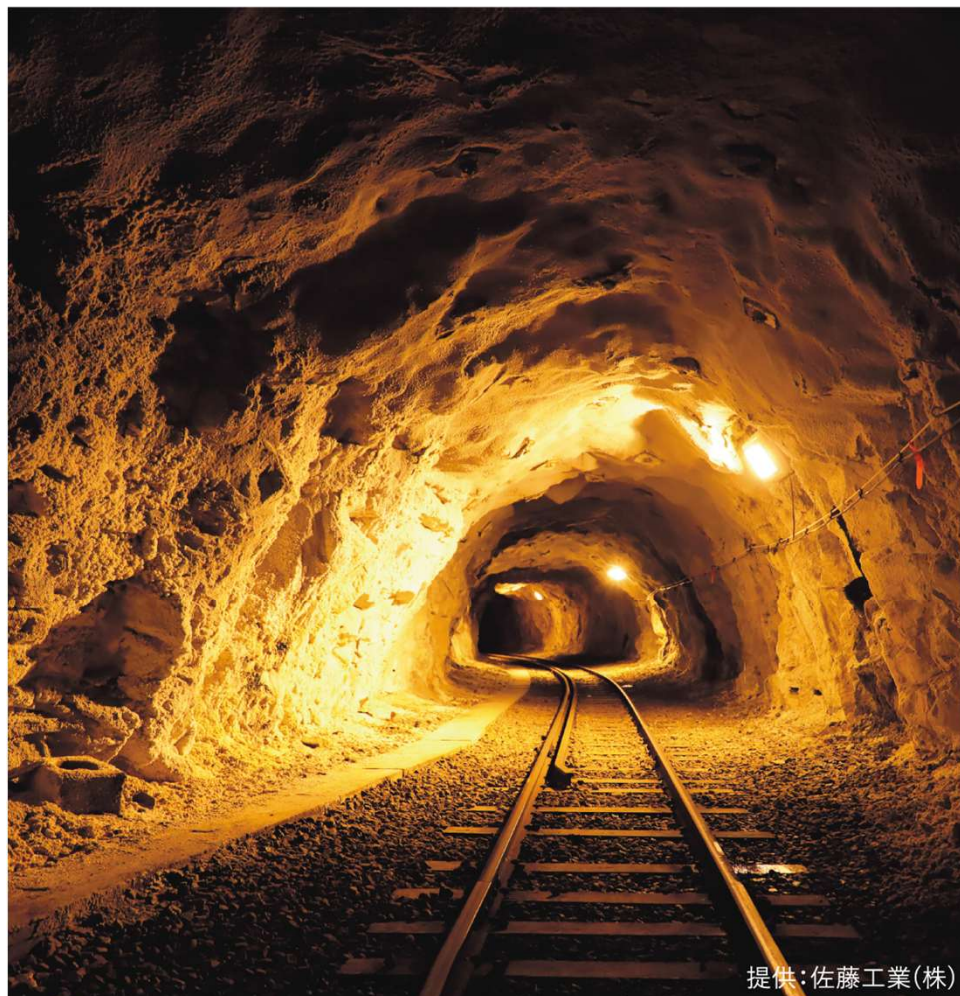


8 黒部トンネル内専用バス

黒部トンネルは、大町側から黒部川第四発電所へ、発電機や水圧鉄管等の大型機械をはじめとする多くの資材を運搬するために建設された。下流側と上流側の両方から掘り進む全断面掘削工法を採用。貫通時のトンネルの誤差は4cm、トンネル横に通っている水路の誤差は2cmにとどまる。

黒部トンネル開通：昭和34(1959)年 総延長：約10.3km 幅：4.4m 高さ：4.5m
所要時間：40分

こうねつ ずいどう
高熱隧道



提供:佐藤工業(株)

昭和11(1936)年に、黒部川第三発電所工事が着工。その取水ダムは仙人谷に建設されることとなったが、樺平から上流は、河川勾配がさらに急となり、資材運搬用の軌道をそのまま延長することができなかった。このため、貨車をそのまま積み込むことができるエレベーターと隧道(トンネル)による輸送が計画された。隧道の掘削が進むにつれ、温度が不気味に上昇する高熱地帯に遭遇。作業員に冷水をかけながら掘り進めたが、岩盤温度は160℃を超え、ダイナマイトの自然発火等があり、工事は困難を極めた。さらに、爆風を伴う大雪崩が作業員の宿舎を襲う出来事も2度発生するなど自然の猛威を受ける出来事もあった。こうした幾多の困難を乗り越え、昭和15(1940)年に黒部川第三発電所は運転を開始した。なお、高熱地帯は、「高熱隧道」と呼ばれ、難工事から90年近くが経過した現在でも、約40℃ある。黒部宇奈月キャニオンルートでは蓄電池機関車に乗って通過し、今も客車内から硫黄臭や熱気が感じられ、往時に思いを馳せることができる。

おうこう
タル沢横坑



横坑(おうこう)は、トンネル掘削時、土砂を外に排出するための横穴。黒部トンネルには5つの横坑があり、そのうちの 하나가タル沢横坑である。キャニオンルートでは、バスを下車し、200mほど歩いて展望台へ立ち寄る。展望台からは、天気が良ければ、剣岳を望むことができる。富山平野と反対側の方向から望む剣岳は「裏剣(うらつるぎ)」と呼ばれ、本来ならば険しいルートに挑む登山者しか目にすることが出来ない特別な景色である。また剣岳の雪渓には極東最南端の氷河もあり、間近に氷河を望むビュースポットでもある。また、横坑内は、年間を通じて気温が10℃以下であり、トンネル内を流れる地下水も非常に冷たい。当時の工事の過酷さを体感できる。

軟弱な地盤から滝のような水と砂のような岩石があふれ出す「破碎帯」。くろよん建設時に、大町トンネル(現関電トンネル)工事で遭遇した破碎帯からは、4℃の冷水が毎秒660ℓも吹き出し、建設は不可能かと思われたが、地質学会、土木学会の知識と経験を結集し、7か月を要して破碎帯を突破した。立山黒部アルペンルートの室堂と大観峰を結ぶ立山トンネルにおいても破碎帯に遭遇し、工事は難航した。いずれも、現在、トンネルを通りながら破碎帯の場所を知ることができる。



提供: 関西電力(株)



黒部川における 電源開発の歩み

黒部川は北アルプス中央部の鷲羽岳（標高2,924m）を源流とし、立山連峰と後立山連峰に挟まれた黒部峡谷を流れ下り、扇状地を抜けて日本海に注ぐ全長85kmの富山県東部を流れる一級河川。流域は平均年間降水量が4,000mm近い国内屈指の多雨地帯であり、冬には上流付近で積雪が4～7mに及ぶ豪雪地帯でもある。このような大きな落差と豊富な水量を備えた黒部川は、水力発電の理想的な条件を備えており、明治末期頃から注目され始めた。



明治20年代から本格的に行われるようになった水力発電は、急激で豊富な水量を持つ黒部川でも開発計画された。消化策「タダジマスターゼ」を發明した高峰謙吉博士（富山県高岡市出身）は、当時著名で大きくは聞知らず全輸入に頼っていたアムニウムに目を付け、親友のあたるアヲの独占的アムニ企業と日米共同企業運営を計画し、そのために精製に必要な大量の電力を黒部川の水力から求めた。博士は通信省に就職していた若手技師山田勝（やまだひさか）を宇赤月から黒部までの踏査に派遣し、上流に向かって電源開発が進められることになる。

日歩歩道は、水力電源開発調査のため左岸の絶壁にかかれた幅50cmほどの16.6kmの吊橋道。大正14(1925)年に地点と仙人谷の両側から開削され、(1929)年に開通。現在、幅80cm、岩壁が、関西電力が毎年整備しているが残存例年、通行できるのは秋の僅かな期間。水平歩道は、黒部川左岸の絶壁に作られた標本・黒部川谷間の道幅100cm、全長約13.6kmの登山道。

ヲ雪崩とは、通常の雪崩のような雪塊の落下とは違い、空気90%程度（水分10%程度）から成る新しい新雪がほとんど、新雪に含み込まれた空気が圧縮されて下流に走り出し、障害物に激突するとその空気が圧縮されて大爆発（風速50～70m/秒）を起こすものと、昭和13（1938）年12月27日福島県、志合谷にオウチ雪崩が襲来し、隧道工事関係者が斃傷したのを14層建ての宿舎の上部1階部分を残して吹き飛ばした大惨事が発生した。昭和15（1940）年1月にも発生し、周辺に100年を超える宿舎の木が林立した大地に設置した阿曾原宿の木をブチ木ともいふ襲撃した。

戦時中の約10年間にわたって電気事業の国家管理が行われていたが、昭和26(1951)年の電力再編で全国9地区に電力会社が設立され、関西電力との再編で発足。

第二次世界大戦後の復興で電力の需要が供給に追いつかず、特に関西では慢性的な電力不足で世間の遅れが深刻となっていた。

高度経済成長期を支える電力需要に応えるための更なる電源開発が差し迫る中、新鋭の大火力発電が台頭してきたが、時々刻々と変動する電力需要に対し、供給調整が素早くできない難点があった。

そこで変動する電力需要に早く対応できる「くまひ」(黒川川第四発電所と黒部ダムとの総称)の建設計画が具体化することになった。

「くろよん」開発の意義

昭和30年代の電力需要増大に伴い、新鋭の火力発電所をベース負荷とすべく2機が竣工、季節・時間に応じて調整できる大貯水池式水力発電所の開発が必要となつた。

大貯水池での流量調整により、下流既設発電所の渇水期における出力の増加及び下流発電所の新設・増設が可能となつた。

当時の最先端である全断面掘削機を用いて、トンネル掘進距離においては、日本記録を樹立。また、コンクリート打設においては、打設量の日本記録を樹立。さらに、電気設備では、60kV級史上では当時世界最大出力の10kV・20kV級変圧器を採用すると、今日の土木技術や電力技術の向上に向けた役割を果たした。昭和41(1966)年に土木学会技術賞を受賞。

黒部宇奈月キャニオンルートの見学ポイント

Point

1

先人たちの英知を結集した電源開発の軌跡を辿る

60年以上前、黒部川第三発電所・第四発電所の建設に伴い、日本電力(株)や関西電力(株)が工事用ルートを整備しました。現在も発電所の保守や工事に使われており、関西圏に電力供給。そんな、世紀の大事業とよばれた「くろよん」完成からおよそ60年。日本経済を支えた電源施設群は希少性の高いスポットです。



Point

2

非日常の乗り物を使い継ぎ、驚きに満ちた体験

蓄電池機関車やインクラインなどの乗り物で進みながら、地底に作られた電源施設や設備、掘削時岩盤温度が160℃に達した高熱隧道など、電源開発が進められた時代から利用される重厚な乗り物をいくつも乗り継ぎながら、人類の英知を結集した電源開発の歴史をリアルに体感することができます。



Point

3

“秘境”と呼ばれる黒部奥山の雄大な自然を満喫

荒々しい稜線が織りなす裏剣や仙人谷など、長く険しい道を辿った登山者など限られた人しか目にすることのできなかった黒部奥山の秘境から望む大自然のパノラマを満喫することができます。



Aコース(前泊)

宇奈月駅 朝出発 (宇奈月発 第1便)

宇奈月温泉 (前泊) → 宇奈月駅 → 樺平駅 →
(キャニオンルート) → 黒部ダム (解散、立山駅方面へ)



黒部・宇奈月温泉
やまのは



延楽

Dコース(後泊)

立山駅 午前出発 (黒部ダム発 第2便)

立山駅 → 黒部ダム → (キャニオンルート) →
樺平駅 → 宇奈月駅 → 宇奈月温泉 (当日泊・解散)



ホテル黒部



延対寺荘

Bコース(前泊)

宇奈月駅 午前出発 (宇奈月発 第2便)

(扇沢駅 → 黒部ダム → 立山駅) → 富山泊 (前泊)
富山駅 → 宇奈月駅 → 樺平駅 → (キャニオンルート) →
黒部ダム (→ 扇沢駅) (扇沢駅 → 黒部ダム → 立山駅)

富山エクセルホテル東急

ダブルツリーbyヒルトン富山

オークスカナルパークホテル富山

ANAクラウンプラザホテル富山

Cコース(前泊)

大町温泉 午前出発 (黒部ダム発 第1便)

大町温泉郷 (前泊) → 扇沢駅 → 黒部ダム →
(キャニオンルート) → 樺平駅 → 宇奈月駅 (解散)



黒部観光ホテル



緑翠亭景水

宿泊施設紹介 | 宇奈月エリア

延楽 【黒部宇奈月キャニオンルート Aコース（前日泊）/Dコース（当日泊）設定】

眼前に黒部の山並みを望み、眼下に黒部川を見下ろせる深山幽玄の雰囲気包まれた全室峡谷沿いの静かで落ち着いた純和風旅館。

山あいながら、日本海に近い地の利を生かし、新鮮な魚介類を豊富に使った会席料理は延楽の自慢のひとつ。また宮大工の手で造られた、

香気と光沢ある樹齢400年の檜風呂「華の湯」では、額縁に見立てた檜の枠から見える峡谷と湯鏡に映る景色が幻想的な世界へといざないます。



外観



露天風呂「華の湯」総檜造り（新緑）



本館客室（一例）

ここが
自慢！



露天風呂「華の湯」総檜造り 紅葉の眺め



お料理一例（イメージ）

ここが自慢です！！

【食事への拘り】

創業者竹次郎の精神を継承したこだわりの料理旅館。山あいながら、日本海に近い地の利を生かし、新鮮な魚介類を豊富に使った会席料理は延楽の自慢のひとつです。

【風呂自慢】

宮大工の手により造られた樹齢四百年・檜の露天風呂からは、季節により変化する峡谷の景色を見渡しながら贅沢な時間をお過ごしいただけます。

施設概要

■建物：対峰閣1972年築（1990年改装）、本館1980年築

■規模：40室

■収容人数：160名

■住所：〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉347-1

■公共交通機関：JR黒部宇奈月温泉駅→タクシー20分

■自動車利用：黒部ICから15km。約20分

■送迎：団体の場合なし（少人数の場合要相談）

（富山地方鉄道宇奈月温泉駅の送迎は予約制で随時承っております）

（JR黒部宇奈月温泉駅の送迎は要相談）



関電サービス株式会社

黒部・宇奈月温泉 やまのは

【黒部宇奈月キャニオンルート Aコース（前日泊）/Dコース（当日泊）設定】

黒部峡谷の絶景を楽しめる展望露天風呂「棚湯」が人気。客室から目の前に広がる雄大な大自然、四季をモチーフにした落ち着いた館内、美肌の湯として愛されてきた温泉で至福の時間をご堪能いただけます。



外観



バイキングレストラン「Seeds」



本館スタンダード和室

ここが
自慢！



展望露天風呂「棚湯」（入替制）



コンベンションホール『鳳凰』

ここが自慢です！！

【食事プランが多彩】コンベンションホール・宴会場利用の場合は和会席をご用意致します。県内最大級のバイキングレストラン「Seeds（シーズ）」では、団体のお客様でも、新鮮な海の幸と地元北陸の名物料理を含むディナーバイキングお楽しみいただけます。

【部屋タイプが多彩】お部屋は洋室、和洋室タイプもあり、幅広い年代の方のご宿泊にご利用いただけます。

施設概要

■建物：本館1970年築（2019年改装）、

別館飛鳥1987年築（2019年改装）

■規模：142室

■収容人数：845名

■住所：〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉352-7

■公共交通機関：JR新幹線黒部宇奈月温泉駅→私鉄富山地方鉄道

新黒部駅から宇奈月温泉行き約25分

宇奈月温泉駅下車→徒歩約2分

■自動車利用：北陸自動車道黒部ICより県道朝日宇奈月線約13km約20分

宿泊施設紹介 | 宇奈月エリア

ホテル黒部 【黒部宇奈月キャニオンルート /Dコース（当日泊）設定】

宇奈月温泉の最上流に建ち、黒部峡谷の大自然の景観が楽しめます。
ロビー・全室・露天風呂からは対岸を走る黒部峡谷トロッコ電車をご覧ください。
だけ、旅情たっぷり。大浴場は宇奈月温泉では最大級。
温泉に浸ったあとは日本海の新鮮な魚介類を使った料理をお楽しみいただけます。



外観



大浴場(男性用)



喜多館・和室(一例)

ここが
自慢！



ロビーバルндаからの景色(イメージ)



黒部会席(イメージ)

ここが自慢です！！

【峡谷鉄道ビューが宇奈月温泉で一番楽しめる宿】雄大な黒部峡谷を間近に望むロケーションが一番の自慢です。ロビー・客室・露天風呂等、館内のいたるところから黒部峡谷トロッコ電車をご覧ください(4月下旬～11月末まで)。冬季は周囲の山々が雪に覆われ、さながら水墨画のような絶景をお楽しみいただけます。

【お風呂自慢】宇奈月では、最大級の広さと湯量を誇る展望大浴場と趣のある露天風呂を併設しており、黒部渓谷の雄大な眺めをご覧ください。※宴会収容人数について／現在、和宴会の御膳式は対応していません。量の会場にイステール式での宴会となります。

施設概

- 建物: 本館1965年築(1992年改築)、喜多館1978年築(1988年改築)
- 規模: 39室
- 収容人数: 230名
- 住所: 〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉7
- 公共交通機関: JR北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅→富山地方鉄道
新黒部駅乗換→宇奈月温泉駅下車→徒歩10分又は送迎車3分
- 自動車利用: 北陸自動車道黒部ICから約13km約20分、
- 送迎: 送迎あり(富山地方鉄道宇奈月温泉駅より。要予約)

延対寺荘

【黒部宇奈月キャニオンルート Aコース（前泊）/Dコース（当日泊）設定】

明治33年創業の老舗旅館。昭和天皇、カーター元アメリカ大統領はじめ、与謝野晶子、川端康成などの著名人にも愛されたお宿です。

宴会場は宇奈月温泉最大の200畳。椅子テーブル宴会は150名様まで対応可能です。

その他にも中宴会場3会場・小宴会場4会場・会議室をご用意しています。



外観



露天風呂付大浴場 溪の湯(イメージ)



本館・菊亭和室(一例)

ここが
自慢！



露天風呂(入替制・イメージ)



四季を彩る旬の和会席(イメージ)

ここが自慢です！！

【宇奈月温泉最大の宴会場を保有】200畳の大宴会場では、イステール宴会150名様まで対応可能です。

【お風呂からの眺望】大浴場、露天風呂から眺める黒部川は絶景です。また温泉も天然温泉100%(加温加水無)の美肌の湯をお楽しみください。

【料理自慢】「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選 料理部門」において26年連続入賞しております。

施設概

- 建物: 菊亭1968年築、梅亭1981年築、蘭亭1993年築
- 規模: 82室
- 収容人数: 475名
- 住所: 〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉53
- 公共交通機関: 富山地方鉄道 宇奈月温泉駅から徒歩5分
- 自動車利用: 北陸自動車道黒部ICから20分
- 送迎: 送迎あり
黒部市宇奈月温泉駅(1日2回)、宇奈月温泉駅

宿泊施設紹介 | 富山市内エリア

富山エクセルホテル東急

【黒部宇奈月キャニオンルート Bコース（前日泊）設定】

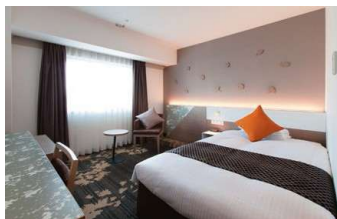
北陸新幹線富山駅から徒歩3分、富山空港からは車で20分と大変便利な立地です。様々なシーンに応じてご利用いただける宴会場をご用意しております。



エントランス



ロビー



シングル(一例)



宴会場(一例)



朝食バイキング

ここが自慢です!!

【便利な立地】北陸新幹線富山駅から徒歩3分。交通の便が良く、観光・ビジネスに最適です。富山市周辺の宇奈月温泉や立山黒部アルペンルートといった観光地への基点としてもご利用いただけます。駅前の商業ビルとも隣接しており、便利にお過ごしいただけます。
【眺望自慢】雄大な立山連峰を望むパノラマビューが魅力のホテルです。特に最上階・地上60Mの『レストランリコモント』では3000M級の立山連峰を眺めながらお食事をお楽しみ頂けます。

施設概

- 建物:1992年築
- 規模:210室
- 収容人数:315名
- 住所:〒930-0002 富山県富山市新富町1-2-3
- 公共交通機関:JR北陸本線富山駅正面出口→徒歩約3分
- 自動車利用:北陸自動車道富山ICから国道41号線約20分
目標物:JR富山駅
- 送迎:送迎なし

i



関電サービス株式会社

ANAクラウンプラザホテル富山 by IHG

【黒部宇奈月キャニオンルートBコース（前日泊）設定】

富山城正面に位置する富山市のランドマークホテル。9つの宴会場と客室をもつ都市型複合ホテルです。富山国際会議場と隣接しており、大型MICEから小規模団体まで様々なニーズにお応えいたします。



外観



デラックスツイン(一例)



大宴会場 鳳



朝食／和洋バイキング(イメージ)



夕食／宴席料理(イメージ)

ここが自慢です!!

【富山市内最大級のバンケットルーム】7メートルの天井高を誇る広さ850m2の大宴会場は様々なニーズに幅広くお答え致します。ライブ中継が可能な大型スクリーンをはじめ、音響・照明設備を駆使した、華麗で優美なひとときを演出いたします。

【食へのこだわり】さまざまな食材に恵まれた、素材の宝庫富山。レストランや宴会場では四季を問わず富山ならではの地産池消費材をお楽しみいただけます。

施設概要

- 建物:1999年築
- 規模:252室
- 収容人数:380名
- 住所:〒930-0084 富山県富山市大手町2-3
- 公共交通機関:JR富山駅→タクシー約5分
- 自動車利用:富山ICから約4Km約15分
- 送迎:送迎なし

宿泊施設紹介 | 富山市内エリア

オークスカナルパークホテル富山

【黒部宇奈月キャニオンルート Bコース（前泊） 設定】

豊かな自然に恵まれた富山の地で、富山駅からわずか2分という抜群のロケーションに位置し、次世代型路面電車がすぐ目の前を走るカナルパークホテル富山。本格的シティホテルとして、洗練された設備・機能を持ち、ご宿泊・お食事・ご宴会、MICEなどとあらゆるシーンで、心を込めた温かなサービスを提供いたします。



外観



ツイン（一例）



エントランス



フロント



和食朝食定食

ここが自慢です！！

【充実のバンケット】大中小、各種宴会・会議形式にあわせたスタイルをご提案可能です。
【立地抜群】富山駅からわずか2分という抜群のロケーション。人気スポットの環水公園も徒歩圏内です。

施設概要

- 建物：2000年築
- 規模：105室
- 収容人数：150名
- 住所：〒930-0858 富山県富山市牛島町11-1
- 公共交通機関：JR富山駅北口出口→徒歩約2分
- 自動車利用：北陸自動車道富山ICから国道41約15分
- 送迎：無し



関電サービス株式会社

ダブルツリーbyヒルトン富山

【黒部宇奈月キャニオンルート Bコース（前泊） 設定】

2023年1月開業。JR富山駅から徒歩3分、観光にもビジネスにも絶好のロケーションです。立山連峰をモチーフにしたコンテンポラリーなインテリアと快適性を兼ね備えた寛ぎの空間でお待ちしております。



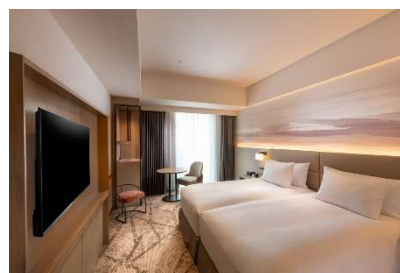
外観（イメージ）



朝食会場



宴会場・バンケット



客室（一例）



大浴場

ここが
自慢！

ここが自慢です！！

【好立地】富山駅から徒歩3分。レジャーにもビジネスにも絶好のロケーションです。
【最新設備を備えたバンケット】3階には様々な目的に多彩なスタイルでご活用いただける最新の設備を取り入れた最大シアター形式90名まで収容可能な宴会場・会議室を完備しております。
【大浴場あり】ご宿泊のお客様はホテル4階のサウナを備えた大浴場と24時間オープンフィットネスセンターをご利用いただけます。

施設概要

- 建物：2023年築
- 規模：201室
- 収容人数：487名
- 住所：〒930-0002 富山県富山市新富町1-1-10
- 公共交通機関：JR富山駅→徒歩約3分
- 自動車利用：北陸自動車道富山ICから約15分

宿泊施設紹介 | 大町エリア

黒部観光ホテル

【黒部宇奈月キャニオンルート Cコース（前日泊）設定】

大浴場内湯は開放的で露天風呂からは四季折々の景色が楽しめます。北アルプスの伏流水を使った会席料理が自慢です。
立山黒部アルペンルート発着駅「扇沢駅」まで車で20分。安曇野まで40分、松本まで60分、長野まで80分と観光拠点に最適です。



外観



別館和室(風呂なし)(一例)



塩の道会席

ここが
自慢！



露天風呂「石の湯」



大浴場「石の湯」

ここが自慢です！！

大浴場内湯は開放的で露天風呂からは四季折々の景色が楽しめます。北アルプスの伏流水を使用し料理人が腕を振ったボリューム満点の会席料理が自慢です。

施設概要

- 建物: 別館1973年築(1985年改築)
- 規模: 89室
- 収容人数: 422名
- 住所: 〒398-0001 長野県大町市平2822 大町温泉郷
- 公共交通機関: JR大糸線信濃大町駅からタクシーまたは路線バスで約15分
- 自動車利用: 長野自動車道安曇野ICから約32km(約40分)
目標物: 黒部ダム
- 送迎: 送迎はございません



関電サービス株式会社

ANAホリデイ・インリゾート

信濃大町くろよん

【黒部宇奈月キャニオンルート Cコース（前日泊）設定】

豊かな自然、歴史、文化に恵まれた北アルプスの麓、信濃大町で四季折々の大自然の魅力を五感で感じるマウンテンリゾートホテルです。

葛温泉の引湯を贅沢に100%かけ流しの露天風呂付き天然温泉で、旅の疲れをゆっくりと癒していただけます。

館内は、温水プール、フィットネスジムなどを完備し、エクササイズやワークアウトを楽しめます。2025年9月2日に新館オープンにより総客室数103室となります。新館30室が全室天然温泉ビューバス付きで贅沢なひとときをお過ごしいただけます。



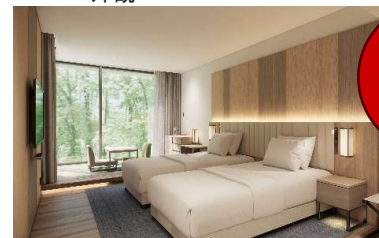
外観



ロビー

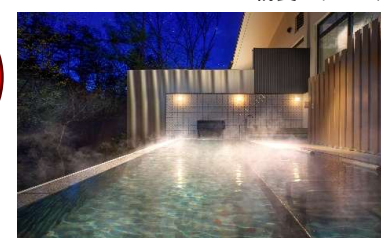


朝食ブッフェ(イメージ)



新館和洋室(一例:天然温泉ビューバス付)

ここが
自慢！



露天風呂

ここが自慢です！！

オールデイダイニングでは、信州の旬な食材を使用したビュッフェをご用意しています。宿泊宴会の夕食メニューは、ご予算に応じてビュッフェメニュー／洋食コースメニューとアレンジ可能です。(要相談)
390㎡のバンケットルームを完備し、MICE案件も対応可能です。「NAGANO GREEN MICE」利用可能施設に登録していますので、グリーン証書を事前にご購入いただければ、実質CO2ゼロで会議の開催が可能です。

施設概要

- 建物: 本館1969年、南館1965年、西館1988年(2020年7月改築) 新館2025年9月2日(新築)
- 規模: 103室(新館30室) ■収容人数: 290名
- 住所: 〒398-0001 長野県大町市平日向山高原2020
- 公共交通機関: JR大糸線信濃大町駅→バス扇沢駅行き約16分
日向山高原下車→徒歩約1分、またはタクシー約16分
長野行きバス「らいちょうライナー」ホテル敷地内に停留所あり
路線バス「大町一扇沢」停留所ホテル正面玄関より徒歩1分。
- 自動車利用: 長野自動車道安曇野ICから約40km約40分
- 送迎: 大町駅からの無料シャトルバス運行(予約制)

宿泊施設紹介 | 大町エリア

緑翠亭景水【黒部宇奈月キャニオンルート Cコース（前日泊）設定】

大町の湯を大切にし、二つの庭園大浴場と露天風呂のほか、足湯、二つの貸切風呂等を備えているお風呂自慢の湯宿です。

宴会場は大中小の宴会場、カラオケ、ゆったりと落ち着いた空間でお酒を楽しめるお店など、充実した施設でお楽しみ頂けます。

料理長自慢の旬菜滋味のお料理と温もりのおもてなしでごゆっくりとお過ごしください。（※宴会場の収容人数につきましては感染症予防のためお受けできない場合があります）



外観



大浴場「清音の湯」



茜館(川側)の一例



大浴場「清音の湯」

ここが
自慢！



大宴会場「龍安殿」

ここが自慢です！！

庭園大浴場「清音の湯」「高瀬の湯」、露天風呂「やまぶき」「さんすい」、足湯「楽座の湯」、貸切露天風呂(有料)「月の湯」「星の湯」など、大町の湯を朝夕に時を忘れてお楽しみ頂けます。

施設概

- 建物：翠館2004年築、茜館1995年築
- 規模：74室
- 収容人数：424名
- 住所：〒398-0001 長野県大町市平2884-13
- 公共交通機関：JR大糸線信濃大町駅→バス扇沢線扇沢行約15分
大町温泉郷バス停下車→徒歩約8分
- 自動車利用：長野道安曇野ICから約26Km約40分
- 送迎：送迎あり(大町温泉郷バス停より、予約制)

宇奈月温泉



宇奈月温泉は、大正12(1923)年に開湯し、令和5(2023)年開湯100周年を迎えた。大正6(1917)年に黒部川における電源開発の調査がはじまり、資材補給や従業員の厚生娯楽の基地として温泉地を開く計画がすすめられた。当時、桃の樹林が広がり、桃原(もはら)と呼ばれていた無人の台地に、黒部川の7km上流にある黒蘆から温泉を引き、宇奈月温泉が開湯した。県内随一の規模を誇る宇奈月温泉の発展の歴史もまた、電源開発の歴史とともにある。



黒部峡谷鉄道



もともとは黒部川上流での電源開発のため、資材運搬用鉄道として建設された。大正12(1923)年、宇奈月から上流へ工事が開始され、昭和12(1937)年には樺平まで全線開通した。深い峡谷を縫うように走るその沿線には、発電所やダムをいくつもみることができる。冬期歩道と呼ばれるトンネルも沿線にあり、電車が通らない冬期でも発電所やダムへ行き点検を行う。トロッキ電車の絶景の旅は、人跡未踏の黒部峡谷の地に挑んだ電源開発の歴史をたどる、黒部宇奈月キャニオンルートの旅への入り口でもある。



立山黒部アルペンルート



標高3,000m級の北アルプスを貫く、世界有数の山岳観光ルート。富山県と長野県をつなぐ37.2kmの交通路を、多彩な6つの乗り物で気軽に楽しむことができます。春の「雪の大谷」や、紺碧の水面に立山を映す夏の「みくりが池」、眼下に紅葉が広がる秋の立山ロープウェイなど、四季折々の魅力が満載です。

立山山麓



立山は万葉の時代より「神々が宿る山」とされ、富士山や白山と並ぶ「日本三霊山」として、山岳信仰の対象でした。信仰の拠点であった芦峯寺には、今も雄山神社や閻魔堂などがあり、立山信仰の原風景をなしています。また、落差日本一(350m)を誇る称名滝は、国の名勝・天然記念物に指定され、「日本の滝100選」にも選ばれています。